

大阪市役所医師会報

発行 大阪市役所医師会

〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7-326 財団法人大阪市環境保健協会内 TEL (06)6254-7982

No. 133 2016(平成28年)5月

大阪市役所医師会員のみなさまへ

大阪市役所医師会会長 田中正博

平成28年熊本地震

4月14日21時26分頃に熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の大きな地震が発生しました(前震 マグニチュード6.5)。4月16日1時25分頃には、同じく熊本県熊本地方を震源とする、再び最大震度7が観測されました(本震 マグニチュード7.3)。震度7の地震が2回続けて観測されるのは初めてのこのことのように、1回目の揺れに耐えた建物が2回目の揺れで倒壊するなど建物被害を大きくしました。今も余震が続いています(4月25日現在)。まず余震が1日も早く収まることを願っています。

お亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を捧げ、被災されたすべての方に心よりお見舞いを申しあげます。1日も早く平常の生活に戻れますようお祈り申しあげます。



●今号の 主な内容

巻頭の辞	1頁
レジデント・研修医 研究支援規定及び細則	5頁
市民公開糖尿病ゼミナール開催報告	7頁
十三市民病院糖尿病フェスタ開催報告	11頁
平成27年度(第61回)市医学会会長賞等授与者	17頁
大阪市医学会例会年間予定	20頁
代議員会報告(平成27年10月~28年3月分)	21頁
お知らせ・編集後記	27頁

また、大阪市立総合医療センターから災害派遣医療チームDMAT 7名が4月16日に派遣されました。現地では小児科診療業務の支援を中心とした活動を行い、4月20日無事に帰着しました。大阪市として引き続き支援を行う予定があると聞いています。大阪市役所医師会としても、義援金などの応援をしたいと考えています。

I am proud of myself.

外国人のスピーチのなかで、“I am proud of myself. (私は自分を誇りに思う)”という表現をよく耳にします。仕事であれば、プロジェクトを成功に導いた時や賞をもらった時など、小さなことでも大きなことでも何かを成し遂げた時に、「自分」で「自分」をきちんと認めてあげるための表現です。

自分に小さな拍手をおくってあげるフレーズ、それが、“I am proud of myself”です。自分なりに頑張っとうまくいったのであれば、まずは「自分」が「自分」を褒めてあげることが大事です。もしも、「こんなに頑張ったのに誰も褒めてくれない」「こんなに努力したのに認めてくれない」という思いがあるのであれば、周りからの称賛を待つことなく自分で自分を褒めてあげましょう。まずは、自分で自分を心のなかで褒めてあげるのです。

さて、この「自分自身」に誇りをもつとはどういうことなのでしょう。謙虚が美德とされてきた私たち日本人にとって、「自分」に誇りをもつというのは、少し気恥ずかしいことかもしれません。「プライド」とは、「自分への誇り」であり、「自分を尊ぶ心」です。

医師として働くうえでスキルや技術などの習得はもちろん大事です。それができないと医師として一人前になれません。しかし、スキルや技術は時間をかけて練習すれば、どうにかなるものです。それよりも医師としての自覚を持ち、医療者としての誇り、尊ぶ心をもつことがそれ以上に大事です。なのに、スキルや技術などの習得にかかりきりになってしまっていて、自分を尊ぶ心を忘れている人がいるように思うのは残念です。

医師会のこと

この原稿の載る会報は4月の人事異動が確定してから発行予定です。今年から研修医になられた先生は国家試験に合格されて、医師として研修を開始されて約2か月が経ちました。充実した研修をされていますか。研修医以外の先生にとっても、3月と4月は別れと新しい出会いがあり、新たな気持ちで新年度を迎えられたのではないのでしょうか。

さて、毎年新年度号では、研修医以外の先生にも、医師会活動がよくわかっていない先生がいらっしゃるようなので、説明申しあげています。

まず医師会のいいところは、医師会に参加することで、自分の所属する診療科や医局・病院の枠を超えたつながりが広がります。学年も大先輩から、ちょっと先輩、同期、後輩と幅広くひろがっています。頼れる先輩や「腹心の友」・「朋輩」と出会える可能性だってあります！ 医師として、あるいは個人的に悩んだとき、困ったときには、相談にのってくれる先輩や友人がきっと見つかるでしょう。女性医師の会の活動を見ていると、特にそう感じます。

次に医師といえども、組織に勤務しているので、勤務条件を無視することはできません。一人で改善要求することは大変ですが、みんなの共通の困ったことを医師会に相談していただくことで、解決できる可能性があります。

大阪市役所医師会の自己紹介を少しばかりさせていただきます。大阪市役所医師会は大阪市立大学に勤務する医師を除いた大阪市や大阪府に關係した独立行政法人などに勤務する医師のための医師会です。日本医師会、大阪府医師会の下部組織の郡市区等医師会の一つとなります。500名以上の会員数がある郡市区等医師会の中では大きな医師会です。

活動内容

大阪市役所医師会主催の学術集会と特別講演会を毎年8月（今年は8月27日土曜午後）に開催しています。

女性医師の会とともに男女共同参画委員会活動をしています。

多くの講演会や市民公開講座などを後援しています。

大阪市役所医師会や女性医師の会の会報やホームページを作成しています。

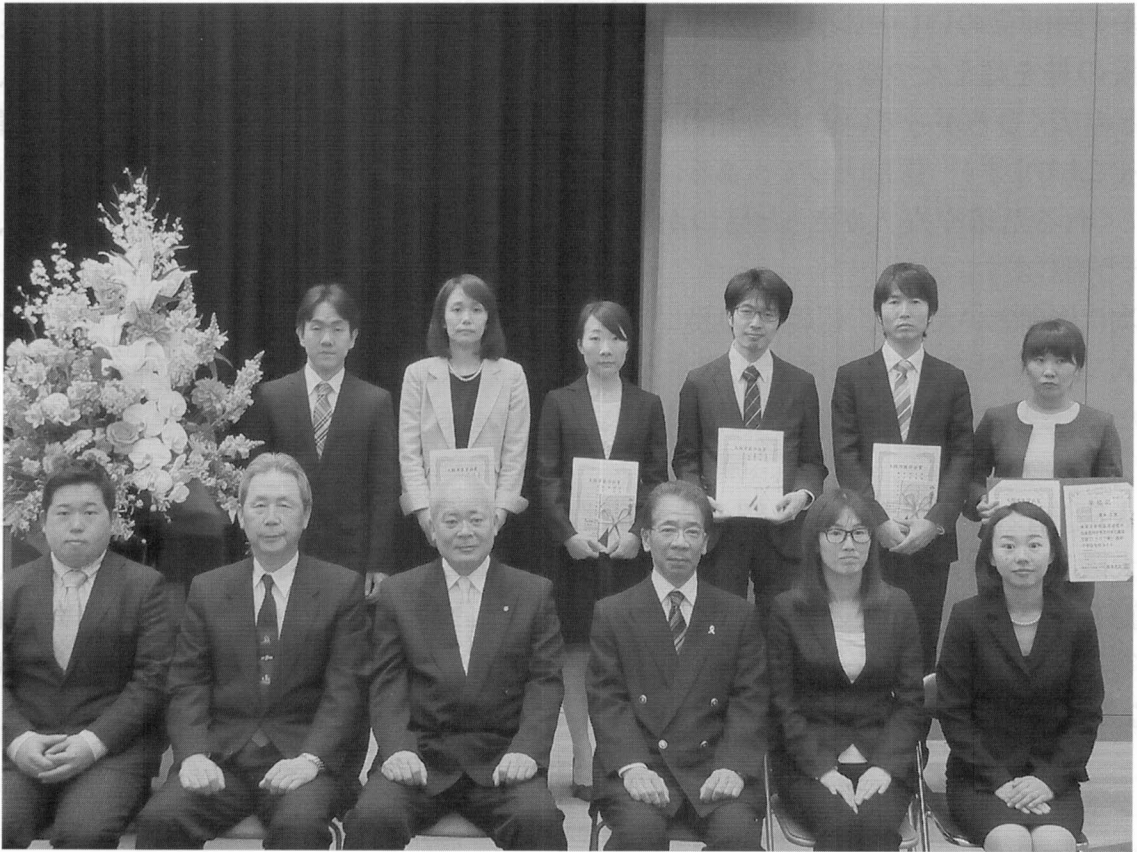
研修医・レジデント委員会を組織し、次世代をにやう若手医師の論文作成支援、研究支援、学会出張支援などを支援しています。

大阪市に勤務している医師は大阪市医学会の会員でもあります。大阪市医学会雑誌（欧文・和文）の出版や大阪市医学会長賞などを支援しています。投稿には大阪市医学会会員資格が必要ですが、会費を大阪市役所医師会が負担しています。

厚生労働省や大阪府などから出される通達などの周知をしています。

大阪府医師会、大阪府下5大学医学部医師会、府庁医師会との定期交流会をしています。

大阪市役所医師会では日本医師会医師賠償責任保険の加入手続きをしています。研修医には日本医師会・大阪府医師会とも会費の研修医割引があり、優遇されています。以上の活動をしています。



大阪市医学会長賞授与式記念写真
(平成 28 年 3 月 22 日 大阪市立大学医学部学舎 4 F 大講義室にて)

レジデント・研修医研究支援規程

大阪市役所医師会

(目的)

第1条 大阪市役所医師会員のレジデント・臨床研修医に対し、医学研鑽のため大阪市役所医師会として支援することを目的とする。

(所管)

第2条 この支援事業はレジデント・研修医委員会で所管する。

(支援内容)

第3条 医師としての医学研鑽のための研究を行った場合、以下に該当する項目について支援金を支給する。

- ① 優秀な研究活動
- ② 論文作成支援
- ③ 学会出張経費

(基準・対象)

第4条 第3条にある支援について、年1回に限り、基準・対象は以下のとおりとする。詳細は細則により、レジデント・研修医委員会で決定する。

- ① 優秀な研究活動
レジデントを対象とし、公募し審査の上決定する。
- ② 論文作成支援
臨床研修医が発表する研究に支給する。
- ③ 学会出張経費
レジデント（機構に所属する者は除く）が所属する学会等への参加のための交通費及び学会参加費

(決定)

第5条 支援を受けるものは、細則に定める方法で審査、決定をする。

- 2 承認後、事務局より申請者にメールで通知する。

(支給)

第6条 研究者は、支給方法をメールで事務局に申請する。

- 2 事務局は申請者に送金する。

(その他)

第7条 この規程の変更については理事会または代議員会の承認が必要

- 2 この規程は平成28年4月1日より施行する。

レジデント・研修医研究支援規程細則

(優秀な研究活動)

対象：市役所医師会に所属するレジデント（レジデント・シニアレジデント・前期、後期臨床研究医・医師免許取得後3年以上10年未満のその他有期雇用職員）1名

申請：研究内容の概要を記載し、指定された期日までに申請する。様式は別に定める。（28年度は7月15日までとする）

審査：7月末までに研究資金支給者の氏名を公表する。

担当はレジデント・研修医委員会、学術委員会で決定する。

責務：学術集会に概要を発表する。また、最終的には論文とすること。

支給：決定次第、20万円を指定口座に振り込む。（対応は事務局で行う）

(論文に関する事項)

対象：市役所医師会に所属する臨床研修医

英文論文校正については、研究者が記載した英語論文についての校正を依頼した場合のみ

学会誌掲載（注）料については、研究者が筆頭著者の論文であること。

申請：英文の研究内容と発表する学術誌名、英文校正料、学術掲載料等を申請する。

審査：レジデント・研修医委員会で決定する。（発表する学術誌、金額等の妥当性）

支給：決定次第、金額を指定口座に振り込む。（対応は事務局で行う）

(学会出張経費に関する事項)

対象：市役所医師会に所属する前期臨床研究医・後期臨床研究医・その他有期雇用職員（市民病院機構に所属するレジデントは認めない）

申請：所属する代議員に申請する。様式は別途定める。

期間：機構と行政の格差解消までの期間とする。

支給：決定次第、金額を指定口座に振り込む。（対応は事務局で行う）

実費弁済を基本とするが、機構と同一条件で合理的な方法をとること

旅費の基準は大阪市の規則を準用する。また、出張先は国内しか認めない。

その他：別に所属等から当該年度の学会出張費等の支出が有る場合は、他方を優先すること。

この事項については、総務・レジデント・研修医委員会、学術委員会・勤務条件等検討委員会が共同して対応する。

・この細則の変更については、関係委員会の委員長の合議により決定する。

・この細則は平成28年4月1日より施行する

注：必ず論文として査読のある学術誌に公表し、市役所医師会の支援を受けたことを記載する。

市民公開糖尿病ゼミナール 「ためしたカッテン2015」

平成27年11月4日

大阪市立総合医療センター糖尿病内分泌センター糖尿病内科 細井 雅之

11月14日は国際連合総会2006年12月に定められた世界糖尿病デー「World Diabetes Day」であり、全世界で、糖尿病撲滅のための啓蒙活動が行われます。日本糖尿病協会もこの日を中心として、「糖尿病週間」として、全国で、街頭キャンペーン、血糖測定活動、患者会活動などを毎年、繰り広げています。

当院でも、2011年から、市民公開糖尿病教室として、NHK「ためしてガッテン」をもじって「ためしたカッテン」を11月14日前後に行ってきました。

体験型糖尿病教室として、

1. 血糖測定
2. SATコンピュータを使った、フードモデルによる栄養相談
3. フットケア指導
4. ゴムチューブをつかったレジスタンス運動実践
5. 薬剤師による薬相談
6. 糖尿病専門医によるよろず相談

などを行ってきました。特に、運動療法指導DVDとしてNHKの「花燃ゆ」を参考に「体燃ゆ」を作成、上映しました。当日は、スタッフとして糖尿病内科医師、糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）大阪糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士）に、協力してもらっています。本年度は11月4日（水）にさくらホールで行いました。234名の市民の参加がありました。大阪市役所医師会からは助成金をいただき、①「市民公開ゼミナール読本2015-2016」という糖尿病啓蒙活動用冊子を作成配布、②「セラミックチューブ」を購入し、当日、配布して運動療法実践指導させていただきました。

ご助成いただきました大阪市役所医師会に対して、改めて厚く御礼申し上げます。

知っているようで知らない糖尿病 ためしたカッテン2015-2016

市民公開糖尿病ゼミナール 読本

大阪市立総合医療センター糖尿病センター
大阪市役所医師会

DM net ONE



DVD作成 糖尿病劇場 運動療法「体 燃ゆ」



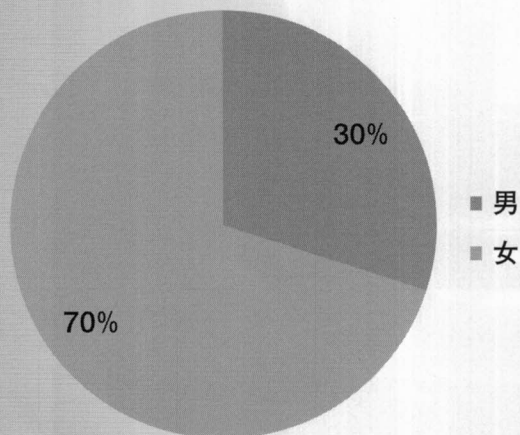
実践、チューブ体操



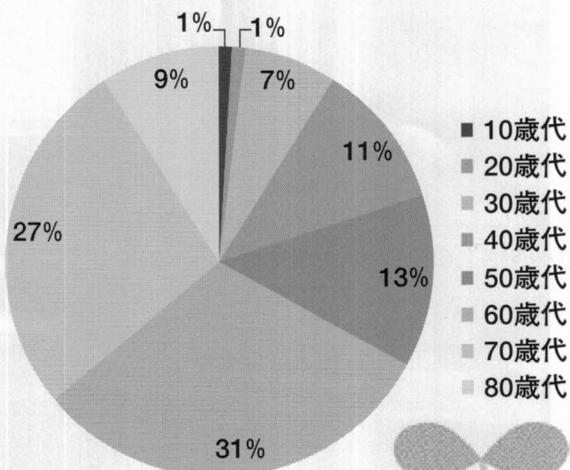
結果

参加者数：234名

性別

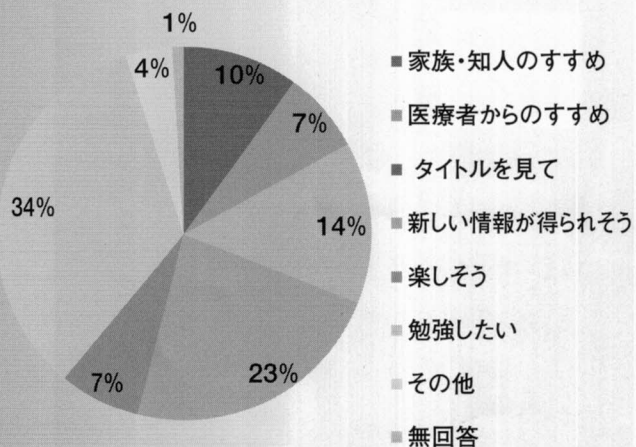


年齢

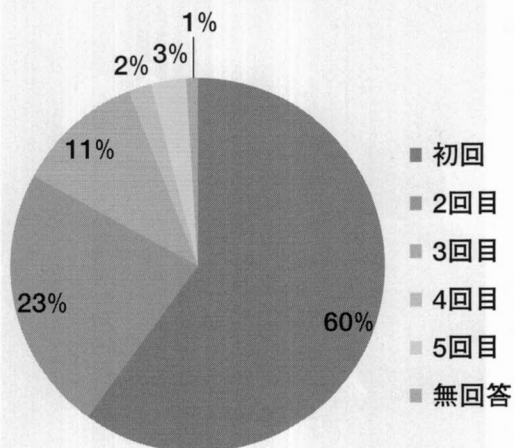


結果

参加理由



参加回数



その他：家族が糖尿病のため、家族が自分と同じ年齢に発症したため、予備軍です、血糖の測定、血管年齢の測定のため など

第7回糖尿病フェスタ 開催報告

大阪市立十三市民病院 糖尿病内科 日浦 義和

2006年12月20日の国際連合は11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけました。日本でも、全国各地で著名な建造物がブルーにライトアップされ、多くの啓発運動が行われています。当院では、1) 地域住民に対し、糖尿病の予防啓発を行い、糖尿病に対する知識および理解を深め、健康推進に役立てる。2) 病院広報活動の一環として、知名度の向上をはかり身近な病院として認識してもらう。3) 本イベントを行うことで、スタッフのチーム医療への意識を高めるとともに、各職種間の団結を強固にする。これら3つを目標に、2009年から毎年11月に糖尿病フェスタを開催しています。近隣の住民の皆様に関心を持ってもらえるように、スタッフ一同でアイデアを出し合い、統一テーマを考えています。来場された方にアンケートを実施し、問題点を検討しています。その結果は、毎年糖尿病学会や研究会を通じて、糖尿病フェスタについての発表を行い、その場で多くの先生方からいろいろなアドバイスを頂くことができました。こうした活動により、十三市民病院について、多くの先生方に知っていただけるようになりました。

今回のテーマについても、食育についてのご提案も頂いたこともあり、第7回となる今回は、「親子三代で育(はぐく)む未来」をメインテーマに掲げて、11月6日(金)7日(土)の2日間開催しました。

1日目は、病院の1階の外来待合および9階のスカイルームを利用して、ミニレクチャーや体験コーナーを行いました。1階外来待合では、医師からは、糖尿病と関係の深い骨粗しょう症の講演、理学療法士からは、歩行能力向上のための運動の実践についての講演、実践を行いました。9階スカイルームでは、体験コーナーとして、血糖測定をはじめとして、臨床検査技師より体組成測定、看護師による血管年齢測定、栄養士からはSAT食育システムを利用したカロリー計算の実践、大阪市立大学生活科学部のご協力で、ロコモ度テストを行うことができました。薬剤師からは、薬や健康食品についての質問コーナーを設けて多くの疑問に答えて頂きました。各職種がそれぞれ知恵を出しあい、多くの事を体験していただくことができ、大変好評でした。

2日目は、相愛大学の杉山文先生に「おいしさから考える減塩対策」というテーマでご講演頂きました。先生には、食生活の目標設定方法から始まり、緑黄色野菜の摂取の必要性や摂取量の目安についてお話を頂き、最後に食塩摂取についての注意点、さらにどのようにして食塩を減らして調理を行うか具体的な方法に

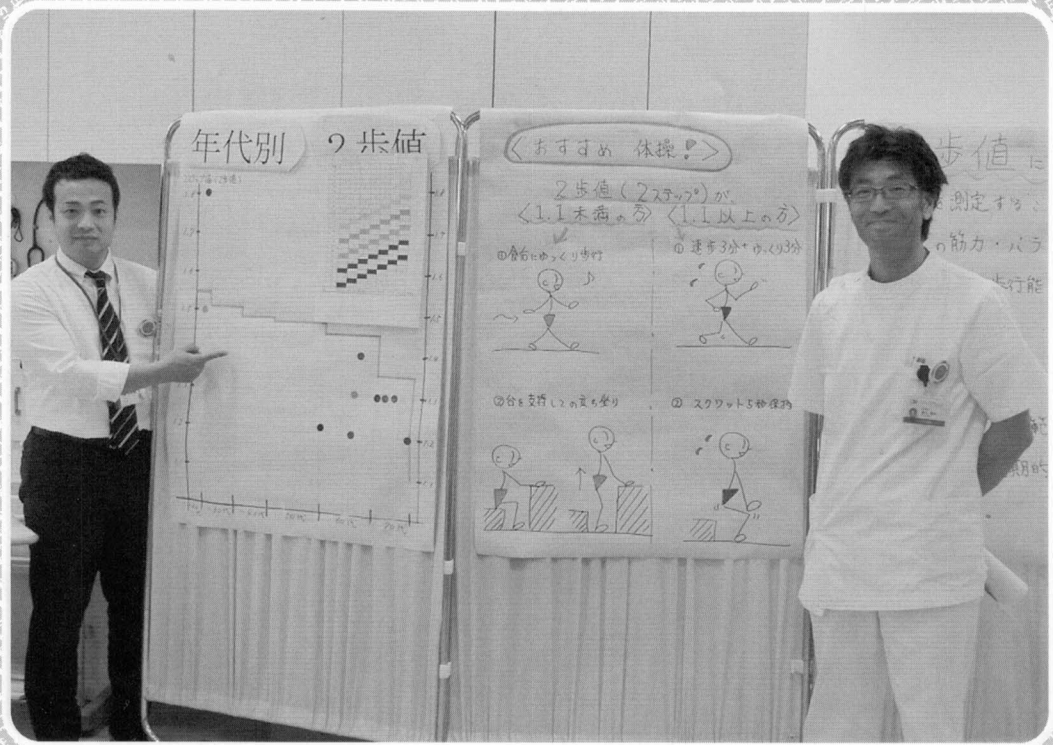
ついて教えて頂きました。1) 野菜を十分取り入れることで、カリウムを取り入れ、ナトリウムを体外に排出できること。2) 酸味、旨み等を利用して、塩分を減らした分を補うことができること。3) 表面に味を集中させることで、塩分の絶対量を減らすこと。4) 視覚、嗅覚、触覚、聴覚、そして最後に味覚、これら五感を満たす調理することが必要であること。これらを行うことで減塩が可能であることが、わかりやすく説明されました。講演後に多くの質問にもお答えいただき、大変盛り上がりました。

2015年の参加者は計110名(1日目76名、2日目34名)で、残念ながら前回の144名には及びませんでした。今後の参加者の増加のためには、今回の参加者の多くが60歳以上であったことから、もう少し予防が必要な40歳から50歳代の年齢層にアピールできるテーマが必要であると考えています。しかしそうした中でも当院で糖尿病の治療を行っていない方の参加が60%にのぼり、糖尿病の啓発、啓蒙活動および病院の広報活動の一役は担えたのではないかと考えています。

最後に、開催に当たっては大阪市市役所医師会から、多くのご援助を頂いております。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。



本当は怖い骨粗しょう症(医師)



理学療法士（生き生き体操）



食育講演会（杉山文先生）



血糖測定（看護師）



血管年齢測定（看護師）



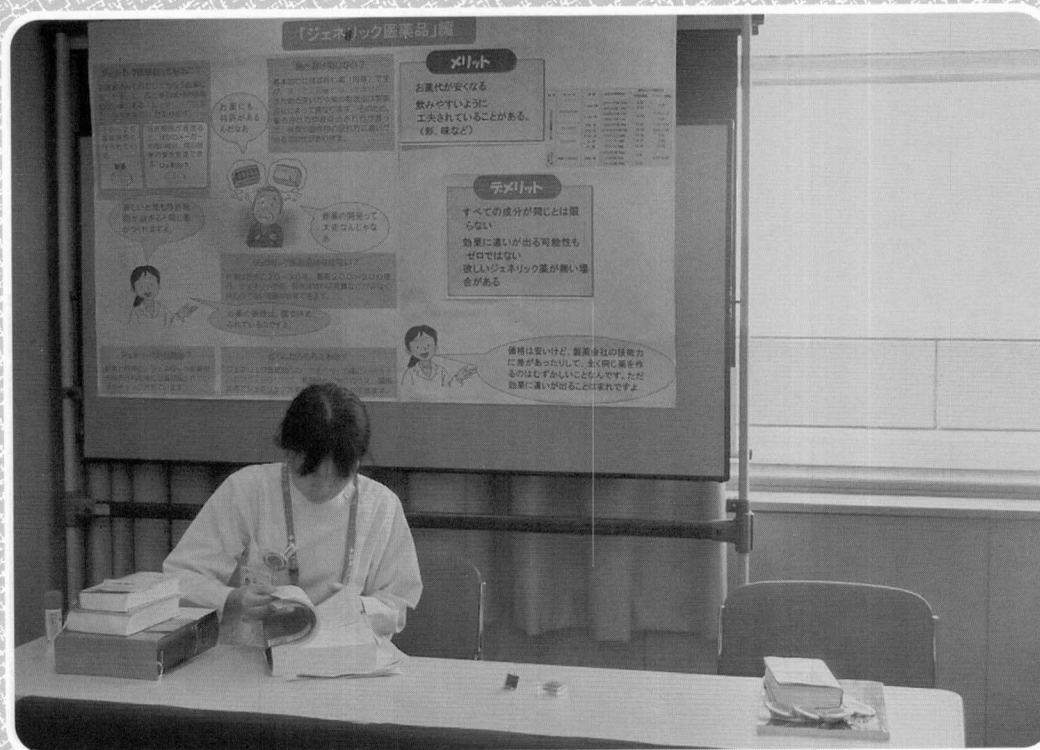
体成分分析（臨床検査技師）



あなたの食事は何キロカロリー（栄養士）



ロコモ度テスト（大阪市立大学）



相談コーナー（薬剤師）

平成 27 年度 (第 61 回)
大阪市医学会長賞、大阪市医学会賞
受賞者

平成 27 年度の大阪市医学会長賞論文が 2 編、医学会賞が 7 編選考されました。

【大阪市医学会長賞】

氏名・所属

福岡達成・八代正和・木下春人・
森崎珠実・長谷川毅・平川俊基・
青松直撥 (大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学)
竹田博史・丸山隆幸 (小野薬品工業株式会社 研究本部)
平川弘聖 (大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学)

論文題目

Prostaglandin D Synthase is a Potential Novel Therapeutic Agent for the Treatment of Gastric
Carcinomas Expressing PPAR γ
(プロスタグランジン D 合成酵素は PPAR γ 発現胃癌の新規治療剤である)

掲載誌および発刊年

International Journal of Cancer 2015 ;137 :1235-1244

氏名・所属

岩倉成華・藤原靖弘・田中史生・
谷川徹也・山上博一・斯波将次・
富永和作・渡辺俊雄 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)
飯島克則・小池智幸 (東北大学大学院医学研究科 消化器内科学)
Andrew F Walls (サザンプトン大学病院 免疫薬理学)
荒川哲男 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)

論文題目

Basophil Infiltration in Eosinophilic Oesophagitis and Proton Pump Inhibitor-responsive Oesophageal
Eosinophilia
(好酸球性食道炎とプロトンポンプ阻害薬反応性食道好酸球浸潤における好塩基球浸潤)

掲載誌および発刊年

Alimentary Pharmacology and Therapeutics 2015 ;41 :776-784

【大阪市医学会賞】

氏名・所属

岩田真一・杉岡憲一・藤田澄吾子・
伊藤朝広・松村嘉起・花谷彰久・
高木雅彦 (大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
Marco R Di Tullio・本間俊一 (コロンビア大学医学部附属病院)
葭山 稔 (大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)

論文題目

Aortic Arch Atherosclerosis in Patients with Severe Aortic Stenosis can be Argued by Greater
Day-by-day Blood Pressure Variability
(重症大動脈弁狭窄症患者における大動脈弓部の動脈硬化は日間血圧変動の増加により論ず
ることができるか?)

掲載誌および発刊年

Atherosclerosis 2015 ;241 :42-47

【大阪市医学会賞】

氏名・所属

田中昌子・文 沙俣	(大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学)
原田哲仁・大川恭行	(九州大学医学研究院 先端医療学部門)
稲垣 梓	(大阪市立大学大学院医学研究科 分子病理学)
佐野宗一	(大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
高橋克之・泉 康雄・岡真優子	(大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学)
鱈淵英機	(大阪市立大学大学院医学研究科 分子病理学)
山形雅代・雪村時人	(大阪大谷大学薬学部 臨床薬理学)
三浦克之	(大阪市立大学大学院医学研究科 薬効安全性学)
塩田正之・岩尾 洋	(大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学)

論文題目

Hsc70 Contributes to Cancer Cell Survival by Preventing Rab1A Degradation under Stress Conditions
(Hsc70はストレス条件下においてRab1Aの分解を抑制することで癌の生存に寄与する)

掲載誌および発刊年

PLoS One 2014 ;9:e96785

氏名・所属

寺西優雅	(大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)
松原 勤	(大阪市立大学大学院医学研究科 機能細胞形態学)
Kristopher W Krausz	(アメリカ国立衛生研究所 国立癌研究所)
Thi TT Le	(大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)
Frank J Gonzalez	(アメリカ国立衛生研究所 国立癌研究所)
吉里勝利	(フェニックスバイオ株式会社)
池田一雄	(大阪市立大学大学院医学研究科 機能細胞形態学)
河田則文	(大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)

論文題目

Involvement of Hepatic Stellate Cell Cytoglobin in Acute Hepatocyte Damage through The Regulation of CYP2E1-mediated Xenobiotic Metabolism

(肝星細胞のサイトグロビンは急性期の肝細胞障害においてCYP2E1を介した薬物代謝の制御に関与する)

掲載誌および発刊年

Laboratory Investigation 2015 ;95:515-524

氏名・所属

康 史朗	(大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学)
山田康一	(大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学)
西本光孝・林 良樹・康 秀男・	
中嶋康博・中根孝彦・廣瀬朝生・	
中前美佳	(大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学)
掛屋 弘	(大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学)
日野雅之・中前博久	(大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学)

論文題目

Effectiveness of Antibacterial Prophylaxis with Non-absorbable Polymyxin B Compared to Levofloxacin after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation

(同種造血幹細胞移植後の細菌感染予防としての非吸収性抗菌薬ポリミキシンBのレボフロキサシンと比較しての有効性)

掲載誌および発刊年

Transplant Infectious Disease 2015 ;17:647-654

【大阪市医学会賞】

氏名・所属

森本和也・田中智章・仁田有次郎・
大西景子・川嶋秀紀・仲谷達也（大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学）

論文題目

NEDD9 Crucially Regulates TGF- β -triggered Epithelial-mesenchymal Transition and Cell Invasion in Prostate Cancer Cells: Involvement in Cancer Progressiveness
(NEDD9は前立腺癌細胞においてTGF- β による上皮間葉転換および細胞浸潤を制御し癌の進展に関わる)

掲載誌および発刊年

The Prostate 2014 ;74:901-910

氏名・所属

濱本佳恵・山田真介・安本真理・
與田真貴・與田紘一郎・津田昌宏・
岡本圭司・後藤仁志・稲葉雅章（大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学）

論文題目

Association of Nocturnal Hypertension with Disease Activity in Rheumatoid Arthritis
(関節リウマチ患者における疾患活動性と夜間高血圧の関係)

掲載誌および発刊年

American Journal of Hypertension 2015 ;In press

氏名・所属

能見恭子・徳原大介（大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学）
橘 大介（大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学）
齊藤三佳・阪下裕子（大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学）
中野朱美・寺田裕之・片山浩子・
古山将康（大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学）
新宅治夫（大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学）

論文題目

Zymosan Induces Immune Responses Comparable with Those of Adults in Monocytes, Dendritic Cells, and Monocyte-Derived Dendritic Cells from Cord Blood
(Zymosanは成人と同等の自然免疫応答を新生児に誘導する)

掲載誌および発刊年

Journal of Pediatrics 2015 ;167:155-162

大阪市医学会例会年間予定（普通演題のみ）

平成28年度

月	例会予定 年6回 第3木曜				編集委員会
	開催日	場 所	普通演題 申込み締切日	当番教室 (変更あり)	(年4回) 4・6・11/第2火曜 11/第4火曜
4月	*	*	*	*	4月12日(火) 16:30~
5月	第492回 5月19日	4F 中講義室	4月5日(火)	法医学 寄生虫学	*
6月	*	*	*	*	6月14日(火) 16:30~
7月	第493回 7月21日	4F 大講義室	6月6日(月)	免疫制御学 脳神経科学 遺伝子制御学	*
8月	*	*	*	*	*
9月	*	*	*	*	*
10月	第494回 10月20日	4F 中講義室	9月5日(月)	総合医学教育学 老年内科学	*
11月	第495回 11月17日	4F 大講義室	10月6日(木)	循環器内科学 呼吸器内科学	11月29日(火) 16:30~
<p style="text-align: center;">市医学会の受付は「普通演題のみ」となりますのでご注意ください。 (平成22年度より、例会において学位論文の発表をする方は、学位審査を同時にすることになりました)</p>					
12月	第496回 12月15日	6F 中講義室	11月4日(金)	代謝内分泌病態内科学 腎臓病態内科学	*
1月	第497回 1月19日	4F 大講義室	12月6日(火)	消化器内科学 肝胆膵病態内科学	1月17日(火) 16:30~
2月	第498回 2月9日	4F 大講義室	1月6日(金)	発達小児医学	*
3月	第62回会長賞 3月28日(予定)	(会長賞) 4F 大講義室	*	*	*

○上記日程は開催予定ですので、当番教室等変更される場合があります。

なお、内容の要旨・抄録の提出日については市医学会までお問い合わせ下さい。

○大阪市医学会事務局（月曜～金曜）の受付時間はAM. 9:30～PM. 5:00です。

問い合わせ先 医学部学舎12F 担当：百々

FAX & TEL: 06-6645-3782

Email: shiigakukai@med.osaka-cu.ac.jp

大阪市役所医師会 平成26年10月代議員会議事録

と き：平成27年10月27日（火） 午後6時30分～7時15分

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 村田佳津子 中西亜紀 依藤 亨 出雲谷恭子
根引浩子 鈴木真司 吉野祥一 西口幸雄 原 純一 古塚大介 細井雅之
山口利昌 金本元勝 栗原敏修 田中政宏 田中 亨（18名）
日浦義和（十三市民病院糖尿病フェスタ説明のため） 木幡利至朗（事務局）
委任状提出：河田 弘 稲田 浩 清水貞利 中田真一 愛場庸雅 宮村鈴子
平林 円 國行秀一 高野保名 森 秀夫（10名）

・会長報告

▶ 11月5日に5大学+2行政懇談会、医療事故調査制度・新専門医制度等が議題

▶ 理事について

会長・副会長・各委員長に加えて西口、古塚、細井、撫井先生に依頼 → 承認

・各委員会報告

総務委員会 総会の謝辞あり

広報委員会 ▶ 会報132号発行

▶ 会員区分で准会員と継続会員の線引きが不明確、会員によって差異がある → 准会員を優先、継続会員は別途優先する

男女共同参画委員会 特になし

学術委員会 来年度の学術集会、さくらホールの予約（8/27）をする

議題

・総会、学術集会について（事務局）

▶ 会報132号に詳細記載 案件は全て承認され無事終了

・講演会後援について

▶ 十三市民病院 糖尿病フェスタについて後援依頼・概要説明

→ 承認、金額等は事務局と調整

▶ 十三の内科系の代議員がない → 会長が日浦先生を指名

大阪市役所医師会 平成27年11月代議員会議事録

と き：平成27年11月25日（水） 午後6時30分～6時50分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 澤田好伴 村田佳津子 中西亜紀 依藤 亨
出雲谷恭子 根引浩子 稲田 浩 鈴木真司 西口幸雄 古塚大介
細井雅之 高野保名 山口利晶 金本元勝 栗原敏修 田中政宏
日浦義和（19名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：中田真一 國行秀一 撫井賀代 森 秀夫 宮村鈴子 山田明子
河田 弘（7名）

・会長報告

- ▶11月5日に5大学+2行政懇談会、山口代議員が説明
- ▶28年度大阪府医師会の代議員数が3→2名になる見込み

・各委員会報告

- 総務委員会 特になし
- 広報委員会 特になし
- 男女共同参画委員会 特になし

議題

- ・レジデント、研修医に対する支援について
 - ▶行政側のレジデントに対して支援があまりない
 - ▶論文執筆補助及び学会出張補助等案文を事務局で作成する
 - ▶学術委員会 来年度の学術集会の特別講師について
- 事務局より代議員へ意見聴取（当別講演者候補の氏名・所属・内容等）

大阪市役所医師会 平成26年12月代議員会議事録

代議員会 とき：平成27年12月22日（火） 午後6時30分～6時55分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 根引浩子 依藤 亨 撫井賀代 細井雅之
出雲谷恭子 鈴木真司 有元秀樹 山田明子 山口利昌 日浦義和（12名）
木幡利至朗（事務局）

委任状提出：澤田好伴 愛場庸雅 高野保名 河田 弘 中田真一 國行秀一
稲田 浩 田中政宏 英久仁子 森 秀夫 平林 円 宮村鈴子
栗原敏修 吉野祥一（14名）

- ・会長報告 特になし
- ・各委員会報告
 - 総務委員会 特になし
 - 広報委員会 特になし
 - 男女共同参画委員会 特になし

議題

- ・レジデント、研修医に対する支援について
 - ▶ 関係代議員でメールによる会議をおこなった。
 - ▶ 研修医に対して、論文校正や学会誌掲載料への支援について異議はなかった。
 - ▶ 学会出張費などが支給されない所属のレジデントへ支給をする等平等化を目指す
 - ▶ 病院へレジデントへの研究に治験費からの執行が可能となるような要望を検討
 - ▶ 行政の代議員も含めレジデントへの支援策を再検討
- ・学術委員会 来年度の学術集会の特別講師に依頼中

大阪市役所医師会 平成28年1月代議員会議事録

と き：平成28年1月27日（水） 午後6時30分～6時55分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 志村雅彦 中西亜紀 出雲谷恭子 撫井賀代 依藤 亨
根引浩子 山口利昌 鈴木真司 金本元勝 古塚大介 吉野祥一 栗原敏修
西口幸雄（15名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 細井雅之 村田佳津子 中田真一 稲田 浩 森 秀夫
英久仁子 平林 円 有元秀樹 國行秀一 山田明子 日浦義和
田中政宏 河田 弘（14名）

・会長報告 22日に府医の会合 4月診療報酬改定について

・各委員会報告

総務委員会 特になし

広報委員会 会報の準備中

男女共同参画委員会

▶2月10日女性医師の会総会予定

▶3月12日市大で大阪市女性医師ネットワークの総会 参加要請あり

▶女性医師の会報2月上旬に次号完成予定 配布依頼あり

議題

・レジデント、研修医に対する支援について

▶レジデント等の待遇について事務局より説明（補足説明金本代議員よりあり）。

▶現状では、行政側の対象者に旅費等の補助が無いことを確認

▶所属で努力してもらい不均衡を是正してもらうまでの期間に限り補助を検討

▶担当で要綱等を整理する

（担当は、レジデント・研修医、勤務条件等検討、学術各委員会 + 事務局）

・学術委員会 来年度の学術集会の特別講師の決定報告

▶慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 伊藤 裕教授

「腸内細菌」について

大阪市役所医師会 平成28年2月代議員会議事録

と き：平成28年2月23日（水） 午後6時30分～7時10分

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 村田佳津子 出雲谷恭子 澤田好伴 依藤 亨 川崎靖子
山口利昌 鈴木真司 日浦義昭 細井雅之 古塚大介 吉野祥一
栗原敏修（13名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：中西亜紀 稲田 浩 愛場庸雅 中田真一 森 秀夫 西口幸雄
撫井賀代 英久仁子 平林 円 宮村鈴子 林下浩士 金本元勝（12名）

- ・会長報告 26日に府医の会合予定
新研修医の府医主催ウェルカムパーティーに参加要請あり
- ・各委員会報告
総務委員会 特になし
広報委員会 4月に会報発行予定（人事異動終了後）
男女共同参画委員会
 - ▶2月10日女性医師の会総会終了、謝辞あり
 - ▶3月12日市大で大阪市女性医師ネットワークの総会予定、参加要請あり
 - ▶女性医師の会会報 次回は7月発行予定

議題

- ・レジデント、研修医に対する支援について
 - ▶支援規定、細則（案）について
 - ▶了承されれば4月の研修医オリエンテーション、会報、ホームページ等で周知
 - ▶ポスターによる周知
 - ▶精算が必要。
- ・大阪市医学会への助成について
 - ▶3月22日に医学会会長賞授与式予定
 - ▶例年どおり会長賞副賞に助成する → 承認
- ・弔慰金の支出について
 - ▶継続会員 佐治哲文様が12月5日ご逝去

大阪市役所医師会 平成28年3月代議員会議事録

と き：平成28年3月23日（水） 午後6時40分～7時15分

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 村田佳津子 志村雅彦 澤田好伴 出雲谷恭子 依藤 亨
根引浩子 細井雅之 西口幸雄 古塚大介 原純一 山口利昌 田中政宏
有元秀樹 栗原敏修 山田明子 吉野祥一（17名） 木幡利至朗（事務局）
委任状提出：中西亜紀 稲田 浩 愛場庸雅 森 秀夫 高野保名 平林 円
英久仁子 宮村鈴子 林下浩士（9名）

- ・ 会長報告 郡市区医師会長協議会報告26日
研修医オリエンテーションにて医師会について説明予定
- ・ 各委員会報告
総務委員会 特になし
男女共同参画委員会 女性医師の会ウェルカムパーティーを4月13日に開催
広報委員会 5月発行予定の会報に学術集会等掲載予定

議題

- ・ 大阪総合病院精神医学研究会（5月28日）への後援について
→ 承認
- ・ 平成28年度予算案、事業計画について
→ 承認
- ・ その他
十三市民病院非常勤医師の準会員入会について → 承認



お知らせのページ



会員名簿について

会員名簿については、大阪市役所医師会ホームページ <http://www.ocma.jp/> の会員専用ページに掲載しております。会員専用ページ閲覧に必要な ID とパスワードは平成 28 年 6 月 1 日に更新予定ですので、5 月中に事務局より先生方に通知させていただきます。

会員情報を各自ご確認ください。修正必要箇所がありましたら、恐れ入りますが事務局までメールにてお知らせください。年度途中で退職予定の方は、退会届を事務局にご提出ください。その他、会員の転入・転出・異動があればご一報くださいますようお願いいたします。

大阪市役所医師会事務局の連絡先は、TEL 06-4792-7075、
メールアドレスは ishikai@oepa.or.jp です。

訃報

佐治哲文先生が、平成 27 年 12 月 5 日にご逝去されました。謹んでお知らせいたします。

佐治先生(享年 78 才)は、長崎大学医学部を卒業後、昭和 45 年大阪市に勤務され、桃山市民病院内科などで診療に携わり、その後、天王寺保健所などで従事されました。中央保健所を最後に大阪市を退職され、最後におとしよりすこやかセンター南部花園館所長を務められました。

ここに先生への哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

勤務医師会報 133 号が出来ましたのでお届けします。先生方にはお忙しい中原稿をお寄せいただきありがとうございました。きれいな写真も紙面では白黒ですので、是非とも大阪市役所医師会のホームページでもご覧ください。

過重労働の問題や、ワークライフバランスの重要性が注目されています。市民の命や健康を守る使命を担う私たち自身の心身の健康について、そのためにも欠かせない働きやすい職場環境づくりについても、一人ひとりが今一度考えてみたいと思います。

当会報やホームページでは、その他の学会・イベントのご案内、研究論文、留学・研修記などの原稿、季節の写真等を受け付けておりますので、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

(出雲谷 恭子 記)

平成 28 年 5 月

大阪市役所医師会会員各位

大阪市役所医師会会長 田中正博
同 学術委員長 依藤 亨
同 レジデント・研修医委員会 川崎靖子

平成 28 年度大阪市役所医師会学術集会開催のご案内および演題募集

先生方にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて平成 28 年度大阪市役所医師会学術集会を下記の要領で開催いたします。多くの会員の皆様の演題発表ならびに御参加をお待ちしております。本年度も、昨年度同様に「当部門における state-of-the-art」をキーワードとし、学術的な成果・臨床的な成果を問わず各部門で国内的・国際的に誇れる成果の紹介を演題として募集いたします。会は、市役所医師会会員外にも広く開放する予定ですので、貴部門の成果を広く知ってもらうための良い機会となると思います。

記

1. 日 時 平成 28 年 8 月 27 日 (土) 午後 2 時～6 時
2. 会 場 総合医療センターさくらホール
3. 演題募集要項

〆切：平成 28 年 7 月 12 日 (火)

提出先：大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科 依藤 亨

t-yorifuji@med.osakacity-hp.or.jp

Tel: 06-6929-1221, Fax: 06-6929-1090

抄 録：本文 1200 字以内で、以下の項目を必ず記載して下さい。

(1) 演題名、(2) 発表者所属、(3) 発表者名 (演者名の前に○印)、(4) 本文抄録をメールでお送り頂く場合は、メール本文に原稿を書かず、必ず文書ファイルをメールに添付して下さい。CD-R やフロッピーディスクでお送り頂く場合は、所属・氏名を明記して下さい。

ファイル形式は Microsoft Word 文書ファイルまたはテキストファイルのどちらかをお願いします。

発表形式：液晶プロジェクター 1 台。Microsoft PowerPoint のみ使用可。口演 5 分、質疑応答 3 分。なお準備の都合上、演者の方は PowerPoint の発表データを 8 月 26 日 (金) までに USB メモリーか CD-R で上記提出先にお渡し下さい。

その 他：優秀な発表には優秀賞を授与します。

尚、託児ルーム (無料) を準備しますので、子育て中の先生方も是非ともご参加ください。

4. 特別講演

慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科 教授 伊藤裕先生 「生活習慣病と腸内細菌叢」(予定)

お問い合わせは下記までお願いします。

大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科 依藤 亨

t-yorifuji@med.osakacity-hp.or.jp

〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22

Tel: 06-6929-1221, Fax: 06-6929-1090